

# 踊る？宇宙の旅

## 長野県－伊那版

2024年

8月30日(金) 18:30~

31日(土) 10:30~

会場：長野県伊那文化会館 プラネタリウム

料金：一般 400 円、小中学生 150 円、幼児無料

**要予約** 各回定員：70名

会館窓口または電話 0265-73-8822 にて受付中！

※空席があれば当日入場可

**構成・出演：木野彩子**

(ダンサー・振付家・大学教員)

**特別出演：水谷浩章**

(コントラバス)

プラネタリウム映像制作：宮部勝之

主催：長野県伊那文化会館、キノコノキカク

共催：長野県、長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会

後援：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

企画協力：Dance New Air、NPO法人ダンスアーカイブ構想

映像協力：国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト(4D2U)

<https://inabun.jp/>

長野県伊那文化会館 電話 0265-73-8822

〒396-0026 長野県伊那市西町 5776(春日公園内)



宇宙と身体はつながっている？ プラネタリウムで  
星取県鳥取と宇宙県長野をつなぐレクチャーパフォーマンス



# 踊る？宇宙の旅 長野県—伊那版

## 宇宙と身体はつながっている？

星取県鳥取と宇宙県長野をつなぐ  
レクチャーパフォーマンス



### 「踊る？宇宙の旅」

ダンサーであり振付家、大学教員である木野彩子が制作したプラネタリウム・レクチャーパフォーマンスです。それぞれの土地にまつわるお話を取り込み、各土地の「星」を見つける作品として全国を回っています。

プラネタリウムに乗って宇宙の旅に出てみましょう。  
月、火星、天の川。

何気なく見ている星々ですが、人間は遙か昔から神話や伝説を通じて星と生命を重ね合わせてきました。地球の中では人間が作り出していると思いがち。でも人間もまた、ひとつの生命に過ぎず、素粒子のかたまりに過ぎないのです。一つ一つの生命は、物質は、かけがえがなく、また影響を与えあって存在しています。

ダンスとは本来、この細胞、DNA に眠っている138億年の宇宙の記憶を辿り、蘇らせるような行為だったのではないのでしょうか。だからダンスは文字の生まれる前から、戦争や大洪水や感染症の蔓延など様々な危機を乗り越え、途切れることなく続いているのです。

私たちはこの身体からしか考えることはできません。  
身体から一緒に考えてみましょう。  
(木野 彩子)

## 今回の伊那版は、コントラバス奏者 水谷浩章さんを招いての、プラネタリウムドームに生演奏が響く特別版

### 木野彩子 ダンサー、振付家

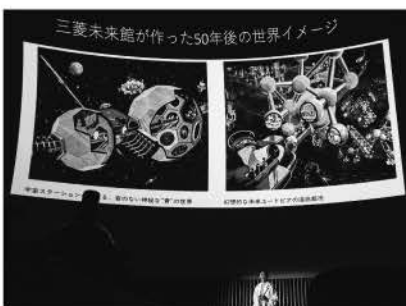


札幌生まれ。横浜ソロ×デュオコンペティション 2003 で横浜市文化振興財団賞を受賞後、2004 年文化庁在外研修で渡仏、ダンサー、振付家として英・仏で活動したのち、2016 年より鳥取大学地域学部附属芸術文化センターに所属。現在、舞踊の霊性について調査研究を行いながら、教職と舞踊家の二足のわらじを履く。アーカイブ資料などを用いた講義と実演、時には観客の体験を含むレクチャーパフォーマンスを用いて、大学教員としての知と芸術活動の両立を目指している。鳥取県鳥取市在住。  
<https://saikokino.jimdofree.com>

### 水谷浩章 コントラバス奏者



20 歳から音楽活動を開始。コントラバスを吉野弘志氏に師事。phonolite (木管、金管、弦を含む変則オーケストラ)、Gush! (加藤崇之 g、芳垣安洋 ds)、ツキノマグマ (松井宏樹 sax、芳垣安洋 ds)、水月 (LUNA vo)、trio (小沢咲希 p、中村海斗 ds) 等を主催。自己の弦楽ユニット phonolite strings では、浜田真理子、原田郁子、青葉市子のサポート等。森山威男、坂田明、大友良英、山下洋輔 ほか多数のユニットに参加。作曲家、アレンジャーとしても活躍中。長野県伊那市在住。  
<http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~mizmic/>



本公演は、ダンスフェスティバル「Dance New Air 2020 → 21」(2021 年 11 月港区立みなと科学館) で上映された「ダンスハ體育ナリ? 其ノ三 2021 年 踊る? 宇宙の旅」※を伊那のプラネタリウムに合わせて再構成するものです。

### ※「ダンスハ體育ナリ?」

2016 年開始のレクチャーパフォーマンスシリーズ。『其ノ一: 体育教師トシテノ大野一雄ヲ通シテ』(初演2016年)では明治期からの「女子体育」と呼ばれる舞踊教育の歴史を、『其ノ二: 建国体操ヲ踊ッテミタ』(初演2018年)では幼の東京オリンピック(1940年)後に愛国心や体力向上のため広まった体操と大衆文化(主に舞踊)の禁止を扱いました。本作はシリーズ第3作になり、身体の未来について考えるために制作されました。

